

## 調査票

(この冊子にご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください。)

# 平成 25 年度第 2 回 県政モニターアンケート調査

## ～ご協力をお願い～

皆様には、日頃から県政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、県政の課題について、県政モニターの皆様のお考えをお聞きし、県政運営の参考資料とさせていただくものです。

お聞かせいただいた内容は、全て統計資料として扱わせていただき、個人に関する内容が公表されることは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年(2013 年)6 月

長野 県

### 調査の実施方法

- ◆この調査は、長野県が実施主体となって、県政モニターの方に回答をお願いしています。
- ◆今回の調査項目は次のとおりです。回答に時間を要する場合がありますがご協力をお願い致します。

- |           |                        |
|-----------|------------------------|
| 問 1～問 3   | 望ましい県の行政組織のあり方について     |
| 問 4～問 8   | 子どもの性被害の防止について         |
| 問 9～問 10  | 道路整備について               |
| 問 11～問 13 | 県産農産物の認知度・購入意識・食生活について |

### ご記入に当たってのお願い

- ◆調査票の最初の枠内に県政モニターID 番号を記入してください(県政モニターID 番号がご不明の場合はお手数ですが本人確認のためお名前、生年月日の記入をお願いします)。
- ◆記入は、黒の筆記用具(鉛筆またはボールペン)でお願いします。
- ◆回答は選択肢のあてはまる数字に○をつけてください(複数の○をつけるものもあります)。

### 調査票の返送について

- ◆ご記入いただいた調査票は、回答漏れのないことをご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに平成25年6月17日(月)までに投函をお願いします。

### 調査についてのお問い合わせ先

- ◆この調査についてのお問い合わせは、以下までお願いします。

長野県総務部広報県民課 (担当)松原 克彦 竹村 真太郎 土屋 明久  
電話:026-235-7110(直通) FAX:026-235-7026 E-mail:monitor@pref.nagano.lg.jp

【お願い】  
アンケート回答の前に県政モニターID  
番号を左の枠内に記入してください。

県政モニターID番号がご不明の場合は  
お手数ですが本人確認のためお名前、  
生年月日のご記入をお願いします。

【記載例】 長野 太郎  
(昭和22年2月22日)

(        年        月        日 )

県政の課題について下記のとおりお伺いします。

## 【望ましい県の行政組織のあり方について】

このため、長野県の「組織」に関する県民の皆様の意識等について伺います。

あなたは、長野県が今後どのような行政分野に力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（〇は3つまで）

- ① 防災・災害に強い県土づくり
- ② 地域の活性化
- ③ 安全・安心のまちづくり
- ④ 子育て支援・少子化対策
- ⑤ 高齢者福祉や医療の充実
- ⑥ 環境保全
- ⑦ 商工業の振興
- ⑧ 雇用対策
- ⑨ 観光振興
- ⑩ 農林業の振興
- ⑪ 社会基盤対策(道路、住宅など)
- ⑫ 教育の充実
- ⑬ 文化・スポーツの振興
- ⑭ その他(具体的に: )

① 組織の見直し(スリム化、重点化)	⑦ 職員の政策立案機能の強化
② 事務事業の見直し・効率化	⑧ 職員のサービス意識の向上
③ 民間委託の拡大	⑨ 分かりやすい課・室構成
④ 県民・企業等との協働の推進	⑩ 情報公開の推進
⑤ 職員数の削減	⑪ 県民等への情報発信
⑥ 市町村への事務権限の移譲	⑫ その他(具体的に: )

**問3 県の組織について、ご意見・ご提案等があれば、自由にお書きください。**  
(記載例：業務がいくつかの課に分かれており、どこに相談したらいいかわからない 等)

### 【子どもの性被害の防止について】

これまで、長野県は子どもの健全育成（性被害の防止等）について、全国の都道府県の中で唯一青少年健全育成条例を制定せず、条例による規制ではなく、県民運動の展開、業界の自主規制、行政の啓発の三つを柱とした「県民総ぐるみの運動」により、取り組んできました。

しかしながら、長野県内においては、ここ数年、児童買春・児童ポルノ禁止法違反等、子どもの心身に有害な影響を与え、健全な育成を阻害する事件が増加しています。

子どもを性被害から守るための方策を検討する資料にするため、子どもの性被害の現状と、性被害から守る方策について県民の皆様のお考えをお伺いします。

**問4 あなたは長野県の子どもの性被害の現状（この1年程度）についてどう感じていますか。あてはまるものを選んでください。（○は1つ）**

- |               |      |
|---------------|------|
| ① 以前より改善している  | ⇒問6へ |
| ② 以前と変わりはない   | ⇒問6へ |
| ③ 以前より悪化している  | ⇒問5へ |
| ④ 深刻な状況になっている | ⇒問5へ |
| ⑤ 分からない       | ⇒問6へ |

**問5** 問4で「③以前より悪化している」、「④深刻な状況になっている」と回答した方にお伺いします。その原因は何だと考えますか。あてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

- ① インターネット、スマートフォン等の発展・普及
- ② 大人の道徳観の低下
- ③ 子どもの道徳観の低下
- ④ 家庭や地域の教育力の低下
- ⑤ 社会の環境変化によるストレスの増加
- ⑥ 分からない
- ⑦ その他(具体的に )

**問6** すべての方にお伺いします。  
あなたは、子どもの健全育成（性被害の防止等）に取り組んでいる「県民総ぐるみの運動」について知っていましたか。あてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

- ① 知っていた ⇒問7へ
- ② 聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった ⇒問7へ
- ③ 知らなかった ⇒問8へ

**問7** 問6で「①知っていた」、「②聞いたことはあるが詳しい活動内容は知らなかった」と回答した方にお伺いします。  
あなたは、今後、子どもを性被害から守るためにどのような対応が必要と考えますか。あてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

- ① これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を続ける
- ② これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)に加え、新たな対策を講じる
- ③ これまでの取組み(県民総ぐるみの運動)を抜本的に見直す
- ④ 分からない

**問8** すべての方にお伺いします。  
あなたが、今後強化すべき又は新たに導入すべきと考える性被害の防止策について、あてはまるものを選んでください。（〇はいくつでも）

- ① 教育現場での性に関する指導(性教育)の充実
- ② インターネットやスマートフォン等の適切な使用方法の子どもへの教育
- ③ 業界の自主規制の強化
- ④ 道徳教育の充実
- ⑤ 子どもと保護者への啓発
- ⑥ 家庭や地域の教育力の再生
- ⑦ 国の法律による規制の強化
- ⑧ 県による新たな条例による規制
- ⑨ その他(具体的に )

## 【道路整備について】

私たちの生活に道路は欠かせないものですが、長野県は近県に比べ整備状況が低く、道路についての要望も非常に多く寄せられています。

このため、今後の道路整備のあり方について、県民の皆様のお考えをお伺いします。

問9 あなたは、今後どのような道路を優先して整備すべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（○は3つまで）

- ① 通勤や買い物などの生活道路
- ② いくつかの市町村を結ぶ幹線道路
- ③ 市街地の道路
- ④ 山間地の道路
- ⑤ 観光地に通じる道路
- ⑥ 隣の県へ通じる主要な道路(高速道路は除く)
- ⑦ 高速道路
- ⑧ その他(具体的に: )
- ⑨ 整備の必要はない
- ⑩ わからない

問10 あなたが日常利用している県内の道路について、どんな対策を優先的に進めるべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。（○は3つまで）

- ① 沿道の草刈りや舗装の穴埋め、こまめな除雪などの維持管理
- ② すれちがいしやすくしたり、急カーブ・急勾配を減らす
- ③ 歩道・自転車道の設置や歩道の段差をなくすなどの改善
- ④ 落石、土砂崩れの危険をなくす
- ⑤ 地震などの災害時に使う避難路や輸送ルートの確保
- ⑥ 交通渋滞をなくす
- ⑦ わかりやすい標識の設置や道路情報の提供
- ⑧ 自然環境や景観への配慮
- ⑨ バス専用レーンの設置、パークアンドライドや時差出勤などによる道路の効率的な利用
- ⑩ その他(具体的に: )
- ⑪ 現状でよい
- ⑫ わからない

## 【県産農産物の認知度・購入意識・食生活について】

※問11から13は平成24年度第1回アンケート調査（平成24年8月実施）と同じ調査内容になっており、この間の認知度や意識の変化を把握するためにお聞きします。

問11 長野県では県産農産物の認知度向上を図り、オリジナル食材の消費拡大に取り組んでいます。県の取組や制度、オリジナル食材をご存知ですか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品目等		知っていますか	
		知っている	知らない
◇県が取り組む認定制度について			
①	「おいしい信州ふード（風土）」（※1）	1	2
②	長野県原産地呼称管理制度（※2）	1	2
③	「信州の伝統野菜」制度（※3）	1	2
◇長野県のオリジナル食材について			
①	原産地呼称管理制度 認定ワイン	1	2
②	認定日本酒	1	2
③	認定焼酎	1	2
④	認定シードル	1	2
⑤	認定米	1	2
⑥	信州サーモン	1	2
⑦	信州黄金シャモ	1	2
⑧	信州プレミアム牛肉	1	2
⑨	シナノスイート（りんご）	1	2
⑩	シナノゴールド（りんご）	1	2
⑪	秋映（りんご）	1	2
⑫	ナガノパープル（ぶどう）	1	2
⑬	南水（なし）	1	2

### ※1 「おいしい信州ふード（風土）」

信州が育む多様な風土の中から生まれた食べ物全ての中から、3つの基準（「プレミアム（厳選素材・厳選基準）」、「オリジナル（独自ブランド・全国上位）」、「ヘリテイジ（伝統野菜・郷土食）」）で厳選した食べ物を、「おいしい信州ふード（風土）」と称し、長野県の統一ブランドとして発信・定着する取組を行っています。

### ※2 原産地呼称管理制度

長野県産の農産物と農産物加工品のうち、特に味と品質が優れたものを認定する制度。

- 認定基準
- ①長野県産の原料を使い県内で生産され、
  - ②一定の品質基準を満たし、
  - ③官能審査に合格したもの。

○現在の対象は、ワイン、日本酒、焼酎、シードル、米（上記表の5品目）



### ※3 信州の伝統野菜制度

「信州の伝統野菜」の保存と伝承を計るため、品種特性や食文化を調査し、より多くの人に伝えるための制度。

○選定基準：長野県内で栽培されている野菜のうち、「来歴」、「食文化」、「品種特性」の3項目について一定の基準を満たしたものの。



問12 あなたは、日頃、農産物を購入する際に「長野県産又は地場産」を意識していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

品 目	常に意識して購入している	時々意識して購入している	意識していない	わからない
① 米	1	2	3	4
② 野菜	1	2	3	4
③ 果実	1	2	3	4
④ 食肉	1	2	3	4
⑤きのこ	1	2	3	4

問13 あなたは、日常の食生活において、次の項目をどの程度実践していますか。項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）

	ほとんどできている	おできむねいる	あまりできていない	まったくできていない
① 食事を楽しむ	1	2	3	4
② 主食、主菜、副菜を基本としたバランスのとれた食事	1	2	3	4
③ ごはんなどの穀類をしっかりとる	1	2	3	4
④ 家庭で料理をつくる際に、時々地元農産物を利用する	1	2	3	4
⑤ 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なくする	1	2	3	4